一般財団法人 東京2025 世界陸上財団 2023 年度 事業計画書

(2023 年 7 月 4 日から2024 年 3 月31日まで)

2025 年に東京で開催される世界陸上競技選手権大会を成功に導いていくためには、大会に対する都民・国民、あらゆるステークホルダーの理解と協力が不可欠であり、大会の開催・運営を担う当財団は、適正なガバナンスが確保された、公正で信頼される組織であることが求められる。

この考えに基づき、今後速やかに大会開催準備を本格化させていくための基盤づくりを行うこととし、事業計画を次のとおり定める。

1 大会開催基本計画等の策定など着実な準備の推進

① 大会開催基本計画等の策定

- ・ 大会開催に向けた基本計画を策定する。
- ・ 大会関係者へのヒアリング調査の結果及び過去大会の状況などを踏まえ、各 F A 業務における各種大会運営計画の検討・準備を進める。

② WA との連絡・調整

- ・ 2023 年ブダペスト大会のオブザーバープログラムやWAのサイトビジット受入などを通じてWAと意見交換や調整を行う。
- ・ 大会競技種目の決定を受け、競技スケジュールについてWAと調整を進める。

2 マーケティングと広報活動

① マーケティング活動の推進

- ・ マーケティング方針を策定するとともに、スポンサー販売についてのWAの合意を得て、マーケティング活動を進める。
- ・ 大会ブランドの構築に向け、大会ロゴの開発を進める。

② 広報活動の実施

- ・ 2023 年ブダペスト大会を契機に、様々な広報媒体等を活用し、東京2025 世界陸上及び東京の魅力をPRする。

3 事務局体制の強化と財政基盤の確立

① 事務局体制の強化

- ・ 業務に応じた専門人材の確保など、事務局体制の強化を図る。

② 財政計画の策定と予算の効率的・効果的な執行

- ・ 大会開催基本計画を踏まえ、財政計画を策定する。
- ・ 予算執行段階において事業や実施方法を改めて検証し、コスト縮減を図る。

③ その他（コンプライアンス、監査体制 等）

- ・ 契約チェック体制の構築や利益相反問題の防止、情報の積極的な公開など、適切なガバナンスの確保に努めるとともに、コンプライアンス推進に係る基本方針、教育・研修計画を策定し、財団内でのコンプライアンスを推進する。
- ・ 監査室、監事、会計監査人が密に連携する三様監査体制を構築し、不正の未然防止、早期発見のためのリスクアプローチの監査手法を導入する。